

2024

10.16 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_ljYS3EycSnCsHgZ_3CS2NQ

【技術支援】九州大学 Q-AOS

カーボンニュートラルへの挑戦： CO₂ と水から有機物を生成する触媒の開拓



Key Words

CO₂

カーボンニュートラル

電気化学

触媒

山内 美穂 教授

九州大学 先導物質化学研究所 分子集積化学部門

山内美穂は福島県出身です。2001年に筑波大学で博士号を取得した後、九州大学助教、北海道大学 CRC (現 ICAT) 准教授を経て、2012年に九州大学 WPI-I2CNER の主任研究員および 2017年に教授となりました。2022年に先導物質化学研究所に移動し、現在は東北大学の教授も務めています。研究分野は、水素科学、触媒、効率的なエネルギー変換に関するナノ材料科学です。最近では、水電解の GteX プロジェクト (IST) のグループリーダー、ムーンショットプロジェクト (NEDO) の CO₂ 変換に関するユニットリーダーを務め、大気から回収した CO₂ を変換するシステムの構築に取り組んでいます。

二酸化炭素 (CO₂) は地球温暖化を引き起こす厄介者と考えられていますが、一方で、化学物質を構成する炭素を含むと重要な化学物質でもあります。我々は、CO₂ と水を原料、エネルギー源として電気を使う新しい化学合成方法を開発しています。化学合成を行うには触媒が必要となります。今回は、現在我々が進めている CO₂ を有機物に変換するための触媒研究についてお話したいと思います。